

e-Rad 府省共通研究開発管理システム

Research and Development

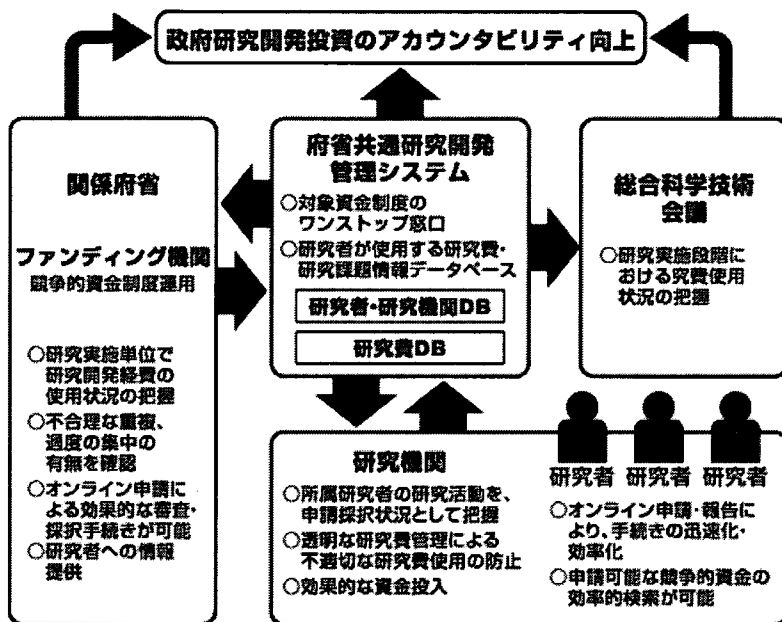
- ▷ ホーム
- ▷ お問い合わせ先
- ▷ サイトマップ

平成20年1月 e-Radの運用を開始しました。

ホーム > システムの概要 > システムの効果

システムの概要

システムの効果



お知らせ

システム概要

システム構築の経緯

システムの機能

システムの効果

研究機関向け説明会の実施内容

ご利用に当たって

本システムで対象となる事業一覧

リンク集

よくある質問と答え

印刷用資料(PDF:22KB)

▶ プライバシーポリシー ▶ サイトポリシー

Copyright © Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）について

1. はじめに

研究開発管理業務については、電子政府構築計画（平成 15 年 7 月各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定）に基づき、行政運営の簡素化・効率化・合理化を推進するため、文部科学省が担当となって研究開発管理業務の業務・システム最適化計画を策定し、平成 18 年 3 月に CIO 連絡会議において決定されました。現在は、平成 20 年 1 月に予定しているシステム運用開始に向けて、システムの開発を進めているところです。

なお、競争的資金及びプロジェクト研究資金については、その配分において、研究実施者側での研究費の「不合理な重複」（同一の研究者による同一の研究課題に対して、複数の競争的資金が不必要に重ねて配分される状態）及び「過度の集中」（一の研究者または研究グループに当該年度に配分される研究費全体が、効果的、効率的に使用できる限度を超え、その研究期間内で使い切れないほどの状態）の排除という課題があります。

ここでは、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の機能概要や効果等について説明します。

なお、「e-Rad」とは、府省共通研究開発管理システムの略称で、Research and Development（科学技術のための研究開発）の頭文字に、Electronic（電子）の頭文字を冠したものです。

2. 本システムの対象

本システムが対象としているのは、競争的資金の全てとプロジェクト研究資金と呼ばれる研究資金の一部です。プロジェクト研究資金のうち対象となるのは、①予め研究目標等が設定され、一定期間研究を実施、②研究者または研究チーム単位に配分、③人件費及び施設・設備整備費を除き一定規模超、の全てを満たすものです。

そのため、配分機関（競争的資金等を配分している各府省及び独立行政法人等）の業務担当者だけでなく、研究課題を応募する研究者、大学等の研究機関の事務担当者、PD（プログラムディレクター）・PO（プログラムオフィサー）、評価者等も、本システムの利用者となります。

3. システムの機能概要

本システムの主な機能は以下のとおりです。

（1）研究開発管理に係る書類のオンライン電子化

研究者、研究機関から配分機関への課題の応募・研究資金の交付申請・成果報告等を、原則、電子化します。これにより、配分機関における業務の効率化、研究者等の利便性向上及び負担軽減を図ります。

また、電子化に際しては、研究課題名、研究者名、研究期間、配分額等の応募基本情報を統一化します。

(2) 研究者への研究者番号発行と一意性の確保

本システムを利用するに当たっては、事前に登録が必要となり、その際に、研究者に一意の研究者番号を付与します。現在、文部科学省の科学研究費補助金の研究者番号をすでに付与されている研究者は、継続して使用できるようにします。

なお、研究者番号を持つことが全ての事業に応募可能ということではありません。応募資格等については、各事業の公募要領を確認して下さい。

(3) 採択前の不合理な重複、過度の集中の排除の支援

(1)、(2)によって、配分機関の業務担当者に対して、不合理な重複及び過度の集中の排除を本システムで支援します。

(4) 総合科学技術会議（CSTP）への情報提供

現状では、CSTP の依頼を受けた配分機関がそれぞれ情報を作成し、オフラインで提供していましたが、本システムの運用開始後には、本システムに登録された情報を CSTP にオンラインで提供できるようになるため、業務の効率化が図られます。

(5) 研究成果の公表窓口の整備

本システムでは、各配分機関が自機関で成果を公表するホームページの URL 情報を登録することにより、国民への研究成果の所在情報を提供します。

なお、本システムでは、研究者の知的財産や個人情報扱うので、安全性、信頼性を十分に確保します。

4. システム化による効果

配分機関では、オンライン応募によって効果的な審査・採択手続きが可能になり、課題管理の負荷が軽減します。また、不合理な重複、過度の集中の排除のための支援が受けられます。

研究機関では、自機関に所属する研究者の研究活動の応募採択状況を本システムで把握できるようになります。

研究者は、オンライン化によって、手続きが迅速化・効率化します。

5. おわりに

平成 20 年 1 月の運用開始以降も、いっそう利用者の視点を重視し、配分機関、研究機関、研究者等の意見を踏まえながら、PDCA サイクルを意識したシステム運用を行っていきたいと考えています。

様式1 (2版)

平成 年 月 日

府省共通研究開発管理システム運用担当 殿

研究機関名称
代表者職名・氏名

職印

府省共通研究開発管理システム (e-Rad)
所属研究機関登録／変更／削除申請書
(電子証明書発行申請書)

「府省共通研究開発管理システム」の利用規約に承諾の上、別紙のとおり申請します。

所属研究機関登録/変更/削除 ※1 申請書

研究機関	研究機関番号 ※2	必須 ※7	
	名称	和名	必須
		英名 ※3	必須
	法人格	必須	
	科研費機関番号	※8	
帝国データバンクコード (TDB 企業コード)	※9		
機関代表者	氏名 (姓) ※4	必須	
	氏名 (名) ※4	必須	
	役職名		
事務代表者	所属部課名	必須	
	係名		
	氏名 (姓) ※4	必須	
	氏名 (名) ※4	必須	
	メールアドレス 1	必須	
	メールアドレス 2		
	郵便番号	必須	
	所在地	必須	
	電話番号	必須	
	FAX 番号		
URL			
事務分担者登録数 ※5 ※6	必須		

※1：登録/変更/削除のいずれかに○印を付けて下さい。

※2：登録申請の場合は、空白にしてください。

※3：研究機関英語略称名がある場合は、略称のみ記入してください。

※4：漢字氏名については、JIS 第 1 水準・第 2 水準にない文字の場合、カタカナまたは代替可能な文字で記入してください。

※5：貴研究機関において、事務代表者以外で、府省共通開発管理システムの事務を行わせるため、事務分担者を登録する場合は、原則として各所属部署毎に 1 名まで登録できますので、その人数を記入してください（1 研究機関あたりの上限は 99 人）。なお、事務分担者を登録しない場合は「0」と記入してください。

※6：事務分担者について、所属部署名を様式 2 に記入してください。

※7：変更/削除申請の場合のみ“必須”となります。

※8：科研費の機関コードをお持ちの機関のみ記入してください。

※9：帝国データバンクコードをお持ちの機関のみ記入してください。

厚生労働科学研究成果データベース 閲覧システム

URL: <http://mhlw-grants.niph.go.jp/>

厚生労働科学研究成果データベース

MHLW-GRANTS SYSTEM

厚生労働科学研究成果データベース

⇒ 閲覧システム

↑このボタンをクリックしてください。

-  **研究分野一覧**
-  **担当課情報**
-  **研究事業変遷表**

お知らせ

お問合せ先

※お問合せ時間：9:30~17:30(平日)
 国立保健医療科学院 研究情報センター
 図書館サービス室
 担当: 厚労省 GRANTS SYSTEM 係
 TEL : 048-458-6211
 FAX: 048-469-0326
 E-mail: libweb@niph.go.jp

平成17年5月9日から **341853** 人目です。

厚生労働科学研究成果データベース

検索トップ 研究分野一覧 担当課情報 研究事業変遷表

検索

検索条件: GAND OR 検索式 検索実行 シーズン検索 検索クリア

検索項目: 検索項目指定

表示件数: 20

表示順: 研究年度(降順)

検索データにつきましては、平成11年3月28日
 最新のデータの掲載に抑えています
 (最終更新日:平成19年11月16日)

年度	登録件数
平成17(2006)年度	1703件
平成16(2005)年度	1527件
平成15(2004)年度	1822件
平成14(2003)年度	853件
平成13(2002)年度	711件
平成12(2001)年度	860件
平成11(2000)年度	819件
平成10(1999)年度	822件
平成9(1998)年度	981件

※経年研究報告書: 当該年度の研究報告書
 ※総合研究報告書: 経年年度の研究結果集について

[閲覧システムトップ](#)

検索結果

ヒット件数: 27 2 < 次へ >

1. 20060208A 経年研究費研究計画書の作成支援システムに関する研究

研究年度: 平成18(2006)年度
 報告書区分: 経緯
 主任研究者(所属機関): 土井 勲(国立保健医療科学院研究情報センター)

2. 20060003A 臨床研究費に於ける遠隔検査手法の検証に関する研究

研究年度: 平成18(2006)年度
 報告書区分: 経緯

3. 20060048A 産学官連携の推進

研究年度: 平成18(2006)年度
 報告書区分: 経緯
 主任研究者(所属機関): 鈴木 元(国立)

4. 200621022A たばこ製剤の改良

研究年度: 平成18(2006)年度
 報告書区分: 経緯
 主任研究者(所属機関): 湯浅 光(国立)

5. 200634024A 産学官連携の推進

研究年度: 平成18(2006)年度
 報告書区分: 経緯
 主任研究者(所属機関): 鈴木 元(国立)

6. 20064024B 産学官連携の推進

研究年度: 平成18(2006)年度
 報告書区分: 経緯
 主任研究者(所属機関): 鈴木 元(国立)

20060403A

研究課題: 臨床研究費に於ける遠隔検査手法の検証に関する研究

研究年度: 平成18(2006)年度
 報告書区分: 経緯
 主任研究者(所属機関): 土井 勲(国立保健医療科学院 研究情報センター)

分担研究者(所属機関): 伊藤 弘人(国立保健医療科学院 研究情報センター), 三浦 正人(国立保健医療科学院 研究情報センター), 橋本 浩一(国立保健医療科学院 研究情報センター), 奥 野子(国立保健医療科学院 研究情報センター)

研究年度: 平成18(2006)年度
 終了予定年度: 平成18(2006)年度
 研究費: 3,500,000円

概要: 研究目的: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

研究内容: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

研究結果: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

公開日: 2007年04月11日
 更新日: -
 研究報告書: -
 ファイルリスト: 20060403A001.pdf 20060403A002.pdf 20060403A003.pdf

平成18年度厚生労働科学研究報告書(厚生労働科学研究報告書)
 研究報告書

産学官連携の推進に関する研究

研究報告書: 土井 勲(国立保健医療科学院 研究情報センター) 研究報告書

概要: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

研究内容: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

研究結果: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

4. 産学官連携の推進に関する研究

研究報告書: 土井 勲(国立保健医療科学院 研究情報センター) 研究報告書

概要: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

研究内容: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

研究結果: 産学官連携の推進に関する研究を実施するため、産学官連携の推進に関する研究を実施するための研究費の活用を目的とする。

科学研究費研究計画書の作成支援システム に関する研究

主任研究者：土井徹(国立保健医療科学院研究情報センター)

分担研究者：山崎力(東京大学大学院医学研究科)

山本健二(国立国際医療センター国際臨床研究センター)

梶尾裕(国立国際医療センター第一専門外来)

伊藤弘人(国立精神・神経センター精神保健研究所)

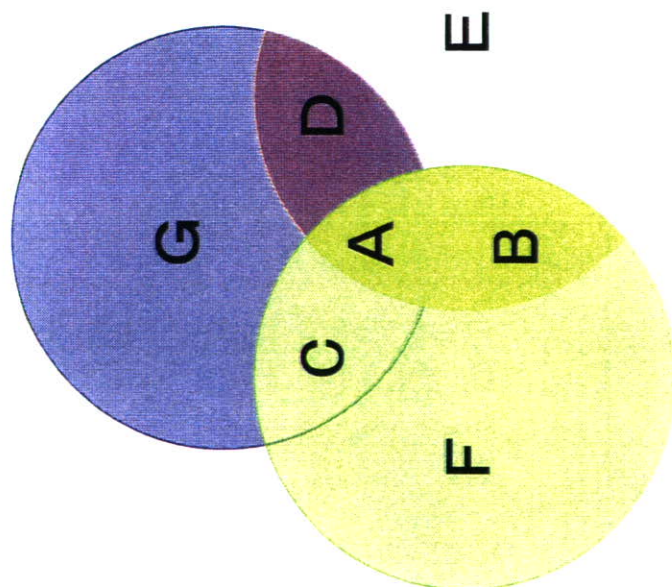
緒方裕光(国立保健医療科学院研究情報センター)

磯野威(国立保健医療科学院研究情報センター)

システム相関図

- A: フォーマットの共通化、研究者 IDの統合、研究事業管理
- B: フォーマットの統一、研究者ID
- C: フォーマットのデジタル化、研究者ID
- D: 研究成果概要(本文の一部)
- E: フォーマットの共通化、研究者ID、研究事業管理
- F: 論理チェック機能
- G: 電子図書館、研究追跡、構造化抄録

研究成果公開システム

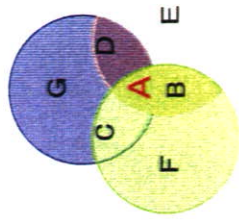


作成支援システム

府省共通システム

A：3システムの共通機能

研究成果公開システム



作成支援システム 府省共通システム

目的1：行政責任の執行

2：研究事業の統合的な運用管理

3：重複研究の制御

対象：研究費の運用管理者、研究評価者、研究者

機能1：申請様式(フォーマット)の共通化

2：研究者特定のためのID管理(指定機関による認証)

3：研究事業管理(研究計画、研究評価、研究成果概要)

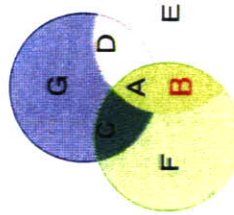
B:府省共通システムと申請システム

目的1:行政責任の執行

2:研究事業の統合的な運用管理

3:重複研究の制御(事前評価)

研究成果公開システム



作成支援システム 府省共通システム

対象 : 運用管理者、研究者、研究評価者

機能1:様式(フォーマット)の統一

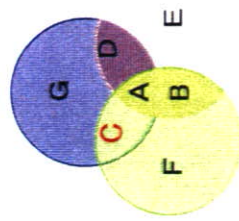
2:研究者ID管理

3:研究事業管理

C:作成支援システムと研究成果公開システム

- 目的1: 研究事業管理の統合化(計画、申請、報告、追跡)
2: 研究者管理の一元化(文部科学省と厚生労働省の研究
者番号の並行管理)
3: 研究者、運用管理者の負担軽減

研究成果公開システム



対象 : 運用管理者、研究者、研究評価者

- 機能1: 計画書、申請書様式のデジタル化、ネットワーク化
2: 研究者ID管理機能(登録、採番、更新)

D:府省共通システムと研究成果公開システム

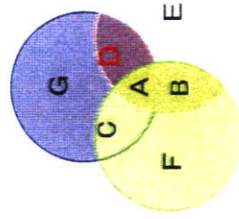
目的1:研究成果の網羅的な登録

対象 :研究者、研究評価者、運用管理者

機能1:研究成果の概要登録

2:研究成果の本文(5Mb以内)登録

研究成果公開システム

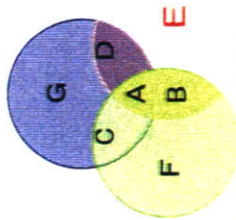


作成支援システム 府省共通システム

E:府省共通システム

- 目的1: 重複研究の制御(事前評価支援)
- 2: 競争的研究資金の統合的な管理
- 3: 府省間の申請方法の共通化

研究成果公開システム



作成支援システム 府省共通システム

対象 : 運用管理者、研究者、研究評価者

- 機能1: 申請様式(フォーマット)の共通化
- 2: 研究者IDの統合管理(指定機関による認証)
- 3: 研究事業管理(研究計画、研究評価、研究成果概要)

F: 作成支援システム

目的1: 研究費不正使用の抑制

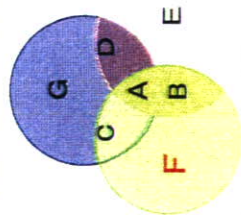
2: 研究費の早期交付

3: 研究者/運用管理者の負担軽減

対象 : 研究者、運用管理者、研究評価者

機能1: 様式内の論理チェック機能

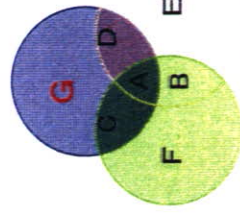
研究成果公開システム



作成支援システム 府省共通システム

G:研究成果公開システム

研究成果公開システム



- 目的1: 研究成果の公開と共有
- 2: 研究事業の活性化と質的な充実
- 3: 科学的な信頼性の高い情報源の構築

対象 : 国民(患者家族、医療従事者、マスメディア)、研究者、研究
評価者、運用管理者、海外の利用者

- 機能1: 電子図書館機能(本文閲覧、多面検索・・・)
- 2: 助成研究成果追跡資料(行政効果)
- 2: 抄録の構造化(目的、方法、結果、考察)
- 3: 関連データベースとの協力(医学中央雑誌、Medline,
CISMeF・・・)

システム間の主要機能一覧

	目的1	目的2	目的3	対象	機能
A	行政責任の執行	研究事業の統合的な運用管理	重複研究の制御	研究者 運用管理者(研究費管理者) 研究評価者	申請様式(フォーマット)の共通化 研究者特定のためのID管理(指定機関による認証:氏名、性別、生年月日、所属機関名) 研究事業管理(研究計画、評価、研究成果概要)
B	行政責任の執行	研究事業の統合的な運用管理	重複研究の制御	研究者 運用管理者(研究費管理者) 研究評価者	申請様式(フォーマット)の共通化 研究者特定のためのID管理(指定機関による認証:氏名、性別、生年月日、所属機関名) 研究事業管理(研究計画、評価、研究成果概要)
C	研究事業の統合的な運用管理	研究者管理の一元化(文部科学省と厚生労働省研究者番号の併行管理)	研究者/運用管理者の負担軽減	研究者 運用管理者(研究費管理者) 研究評価者	計画書、申請書のデジタル化、ネットワーク化 研究者ID管理機能(登録、採番、更新)
D	研究成果の網羅的な登録			研究者 運用管理者(研究費管理者) 研究評価者	研究成果の概要登録 研究成果の本文(5Mb以内)登録
E	重複研究の制御(事前評価支援)	競争的研究資金の統合的な管理	府省間の申請方法の共通化	研究者 運用管理者(研究費管理者) 研究評価者	申請様式(フォーマット)の共通化 研究者特定のためのID管理(指定機関による認証:氏名、性別、生年月日、所属機関名) 研究事業管理(研究計画、評価、研究成果概要)
F	研究費不正使用の抑制	研究費の早期交付	研究者/運用管理者の負担軽減	研究者 運用管理者(研究費管理者) 研究評価者	申請様式内の論理チェック
G	研究成果の公開と共有	研究事業の活性化と質的な充実	科学的な信頼性の高い情報源の構築	国民(患者家族、医療従事者、マスメディア) 研究者 運用管理者(研究費管理者) 研究評価者	電子図書館機能(本文閲覧、多面検索...) 助成研究成果追跡資料(行政効果) 抄録の構造化(目的、方法、結果、考察) 関連データベースとの協力(医学中央雑誌、Medline, CISMef...)

厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(統計情報総合研究)
科学研究費研究計画書の作成支援システムに関する研究
(H18-統計-一般-003)

平成18～19年度 総合研究報告書
2008年3月31日 発行

主任研究者 土 井 徹

連絡先 国立保健医療科学院研究情報センター
〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6
TEL 048-458-6209 FAX 048-469-0326

印刷 有限会社 正陽印刷